

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	地域包括ケア推進室
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2345
	基本事業	介護保健サービスの充実		事業実施主体	市
	事務事業	生活支援・介護予防サービス提供体制構築事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	支援が必要な高齢者のニーズに対応するため、国のガイドラインに基づき、サービスの提供体制の構築に向けたコーディネーター機能を果たす「生活支援コーディネーター」の設置やコーディネーターとサービス提供主体が参画する「協議体」での情報共有・連携強化等を通じて、多様な主体による様々なサービスの提供体制を構築する。 また、市民等への周知・広報を行うとともに、サービスの担い手に対して必要な研修を行う。				
29年度概要	協議体開催（2回） 第2層生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）配置 市民等への周知・広報 サービス従事者への研修				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	4-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）


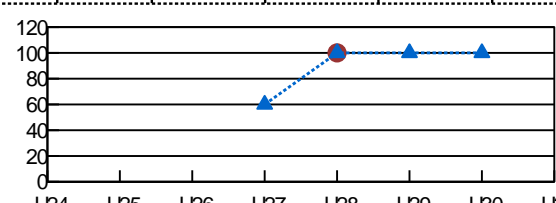
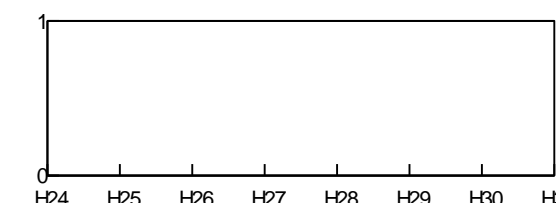
【事業の目的】

対象（何を）	高松市内在住高齢者
意図（どのような状態にしたいか）	多様な主体による様々なサービスが提供される体制を構築し、高齢者が、介護や支援が必要な状態になっても、住み慣れた地域社会で安心して安全に暮らすことができるようにする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
協議体の会議開催回数	回			1	2	2

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
体制構築進捗率	%	目標値		60	100	100	100
		実績値			100		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成28年10月に、新しい総合事業への移行を円滑に実施することができた。また、多様な主体として、シルバー人材センターやスポーツジムなどが参画したほか、住民主体サービスの提供団体も1団体がサービスの提供を始めるなど、地域で高齢者を支える体制づくりを推進することができた。	(目標達成度)						(達成度) 100.0%
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[千円]		22,902	51,971	58,729
（事業費）	[千円]		15,521	40,194	46,952
（職員人件費）	[千円]		7,381	11,777	11,777

【評価】

評価ランク（A～D）	<b>A</b>	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	<b>継続</b>
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

平成 28年 10月からの実施は、大きな混乱もなく、円滑に移行でき、また、多様な主体として、シルバー人材センターやスポーツジムなどが参画したほか、住民主体サービスの提供団体も1団体がサービスの提供を始めた。  
本市の実情にふさわしいサービスを提供するため、生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）と連携を図りながら、担い手となることが見込まれる幅広い関係者と協働して進める必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

多様なサービスの利用促進を図るとともに、住民主体サービスの提供団体を増やし、地域で高齢者を支える体制づくりを推進する。